

かけはし

主な記事

- 会の発足、まちづくり講演会
- 新貨物ターミナル、新車両基地
- 南口交差点南北地上横断化
- 要望、まちづくり機運の高まり

編集・発行／鉄道高架化とまちづくりを推進する会 〒410-0046 沼津市米山町6-5 (沼津商工会議所内) TEL (055) 921-1000(代)・FAX (055) 921-1105

装いも新たに まちづくりを推進！



会長に就任した紅野氏

鉄道高架化とまちづくりを推進する会は、令和6年4月1日に発足しました。前身の「沼津駅の高架化を実現する市民の会」に引き続き、沼津駅付近鉄道高架事業をはじめとする沼津駅周辺総合整備事業の早期完成を促進するとともに、事業の進捗状況等を市民や事業所等に広く情報提供していくことで、次世代に繋ぐまちづくりへの理解と意識の醸成を図って参ります。

“医療田園都市構想” まちづくり講演会を開催

令和7年1月30日、静岡がんセンター名誉総長山口建氏をお招きし、「県東部の医療田園都市構想」をテーマに講演会を開催し、74名が参加しました。

冒頭、沼津駅周辺総合整備事業の進捗状況について、沼津市推進課から説明をいただきました。

講演会で山口名誉総長は、「医療田園都市構想は超高齢社会の理想郷を目指しており、中心は住民。住民視点のまちづくりを進めることで、患者や高齢者の安心と豊かな生活につながり、更なる産業の活性化に結びつく」とお話されました。



山口名誉総長による講演

本誌「かけはし」は、前身の「沼津駅の高架化を実現する市民の会」の広報誌を引継ぎ発行しております。

本誌「かけはし第41号」とバックナンバーはこちら→





工事が進む新貨物ターミナル

着々と工事が進む 新貨物ターミナル

令和5年度、原西部地区において着手した新貨物ターミナルでは、コンテナホーム（写真中央付近）やコンテナホームに進入するための橋梁（写真中央上）等が将来の形状を見せ始めるなど、着々と工事が進んでいます。



↑整備状況の動画はこちら



新車両基地建設工事着工式



紅野会長の祝辞

事業の推進を通じ、沼津市は勿論、県東部地域における産業の発展、防災・減災等の推進とともに安全・安心・安定した地域経済社会の環境、魅力あるまちづくり、地域づくりを後押しします。



新車両基地完成イメージ

新車両基地工事に着手

原西部地区における新貨物ターミナルに続き、令和6年度は、片浜地区において新車両基地の工事が着手されました。
11月21日、工事に伴い開催された静岡県・沼津市共催の着工式に紅野会長が出席しました。

貨物駅跡地に防災公園

市民をはじめとする多様な関係者の意見や沼津市中心市街地まちづくり戦略会議等における議論を踏まえて、公園整備のコンセプトや方針など、貨物駅跡地利用の基本的な考え方を示す「貨物駅跡地利用基本計画」が策定されました。

令和13年度末の一部供用開始を目指し、多様な関係者と連携を図りながら、段階的な整備が行われます。

●整備コンセプト

「平時・有事にフレキシブルに利用される防災・コミュニティの地域拠点」と掲げ、災害時に防災機能を効果的に発揮する拠点を形成するとともに、日常的な憩い・交流の場としての利用を促進し、誰もが楽しく・居心地よく過ごせる地域に根付いた公園を目指しています。



計画策定に向けたワークショップ



屋内子ども広場等のイメージ

OPEN NUMAZUの展開

ヒト中心のまちづくりを推進するため、令和4年度から、まちなかの公共空間を活用することで生まれる風景を「日常」へとつなげ、ヒト中心のまちなかを創り出していくプロジェクト「OPEN NUMAZU」が展開されています。

令和6年度は、11月と1月から2月に、西武百貨店本館跡地を拠点とする、仲見世商店街等沼津駅南口エリアにおいて、近隣ビルや地下道の壁面を利用したアートイベントの実施やストリートピアノの設置、通り沿いにイスや植栽を配置した「くつろぎ空間」の設営等の取組が行われました。



夜の駅南暫定広場での光のアート



仲見世商店街 くつろぎ空間でのストリートピアノ

南口交差点南北地上横断化



沼津駅南口交差点南北地上横断渡り初め式

「沼津市中心市街地まちづくり戦略」で示された中期のまちづくりとして、令和7年3月27日、沼津駅南口交差点東側において、南北地上横断化が実現しました。

横断歩道と信号機が新設されるとともに、地下道入口2箇所が撤去され、あわせて都市計画道路三枚橋錦町線北側1車線が、歩行者空間として整備されました。新しい歩行者動線が生まれることにより、まちなかへの更なるヒトの流れにつながることを期待されます。

自動運転バスの実証運行

令和6年12月、沼津駅・沼津港間における自動運転に向けた実証運行が行われました。走行ルート全線にグリーンラインが表示され、一般車の挙動による影響についても検証されました。

12月6日から15日までの間の6日半で、延べ788人の利用があり、乗車した人達からは、「昨今の運転手不足から必要な取組だ」、「観光への貢献につながる」等の意見が寄せられ、将来的な運用に向けての機運が高まりました。



自動運転バスの運行の様子



走行ルート上のグリーンライン

国土交通省への要望

令和6年12月23日、本格的に工事が始まった「沼津駅付近連続立体交差事業」を着実に推進するため、頼重市長らとともに、国土交通省を訪問し、高架化事業予算の安定的・継続的な確保について要望活動を行いました。

当会からは、佐野副会長（沼津商工会議所青年部会長 写真右）

が参加しました。鉄道高架事業が動き出し、市民や経済界においても機運が高まっていることを説明し、高橋国土交通副大臣からは、「国土交通省も使命感を持って支援していく」と力強い言葉をいただきました。



高橋国土交通副大臣への要望

民間まちづくりの動向

沼津商工会議所では、鉄道高架に伴うまちの再生を見据えて「街なか活力創造特別委員会」で議論を深めています。

駅南街づくり・駅北街づくり・道路公共交通の3つの分科会に分かれて、貨物駅跡地・車両基地跡地の活用や、南北が一体化した将来のまちの姿について意見交換を行っています。



高架後のイメージ模型を囲んで意見交換

ミライの沼津駅絵画コンテスト

沼津市と共催で、夏休みに、こんな沼津駅がいいなをテーマとした「ミライの沼津駅絵画コンテスト」を実施し、72点の応募をいただきました。

令和6年10月28日には、市長賞をはじめ当会の会長賞、沼津商工会議所会頭賞などの特別賞受賞者を対象に沼津市役所で表彰式を実施しました。



表彰式後の記念撮影



入賞者や作品はこちら→

鉄道高架事業をはじめとする「沼津駅周辺総合整備事業」については、以下で詳しく紹介しています。

・沼津市公式ホームページ
<https://www.city.numazu.shizuoka.jp/shisei/keikaku/station>



Facebookページも「沼津発→未来へ」

